

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2023年 11月 9日

事業所名:

サービス種類:(例:児童発達支援・放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	和室の戸袋に入り込まないように、机の配置をかえました。	はい 19名    どちらともいえない 2名 わからない 2名	スタッフの配置及び鏡の設置など死角をなくし、引き続き利用者さまが使いやすいように工夫していきます。
	2 職員の適切な配置	法令に基づいて適切に配置しています。	はい 14名    どちらともいえない 1名 いいえ 1名    わからない 3名	引き続き順守します。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	玄関に足踏み台を設置しました。	はい 17名    わからない 2名	整理整頓された状態の写真をラミネートし棚の上などに掲示します。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の清掃・常時換気・都度の消毒に努めています。	はい17名    いいえ 1名    わからない 1名 ◎ご意見→小さい子が騒がしく落ち着かない	中高生の17:00からの時間のご利用を打診しました。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々の課題(個別と集団)の取り組み方について、児童発達支援管理責任者と当日担当するスタッフの間で、具体的に話し合う時間を作りました。		支援の前後に時間を設け、気づきや反省点をスタッフ一同で共有するようにしていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	行っていません。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	内部研修を月例ミーティングの際に行なっています。		研修の際に質疑応答の時間を設け、具体例などをあげて理解しやすい研修会を実施します。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	職員間での意見交換や保護者との面談、学校の先生方や相談支援事業所からの情報をもとに支援計画の作成をしています。	はい 17名    いいえ 1名 はい 18名    どちらともいえない 1名 ◎ご意見→担当スタッフが席を外した時に課題をしたら、勝手にしないように言われ理不尽だと思った ◎ご意見→いつも子どもの状況、家での状況を気にかけてくださり、そしてご相談させて頂くとすぐに対応して頂き本当にありがとうございます。	課題に入る前に事前準備を徹底し、離席が必要な場合は、利用者さまへの丁寧な声掛けを行います。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別・集団それぞれに、細かい目標を掲げています。		引き続き努めてまいります。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援方法を児童発達支援管理責任者がわかりやすい言葉で記載しています。		引き続き努めてまいります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	お一人お一人に合った支援を行うように努めています。	はい 18名 どちらともいえない 1名	引き続き努めてまいります。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	毎月全員参加のミーティングを開催し、スタッフ全員が1つ以上のお出掛けの場所を提案するなどしてプログラムの内容を協議しています。	はい 17名 どちらともいえない 1名 いいえ 1名	引き続き努めてまいります。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇中はできる限り保護者と利用者さまのご要望の時間に送迎を行いました。また、コロナが5類になったため、BBQなどの食事会も取り入れました。	◎ご意見→夏休みのお出掛けプログラムの日、参加したくない人の事業所での預かりをしてくれないのが少し残念 ◎ご意見→毎回同じようなプリントになっている ◎ご意見→面談結果から支援内容を検討して下さる事、とてもうれしく感じています	個別課題はスモールステップを基本とし、しっかりとした定着を目指していることを、理解した頂けるよう努力します。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	プログラムは曜日をずらせるなどで、固定しないように努めています。		「タグラグビー」や「自由研究」などの新しいプログラムも取り入れて行きます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	日々のミーティングで具体的な支援内容を児童発達支援管理責任者から伝えるとともに、スタッフ間でも確認をしています。		司会者やプログラムのリーダーなど、スタッフ全員の役割が明確になるよう心がけます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援後はお子さんの様子や気づきを個人ファイルに記載し、月末に報告書にまとめいつでも閲覧できるようにするとともに、翌日のミーティングでも情報共有に努めています。		スタッフが話しやすい環境と関係を築くよう努めます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日のミーティングや中間評価などを書面で残しています。		支援計画書の評価表を作成し、日々担当スタッフが記載するようにします。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	スタッフ間での中間評価やカンファレンス、保護者との面談を通して細部に至るまで見直しを行っています。		引き続き努めてまいります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	保護者の方への提案とともに、参加もしております。		ZOOMなどを活用し開催しやすい環境整備をしています。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	受け入れていません。		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	受け入れていません。		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	小学校や支援学校の先生方と、送迎時や電話での情報共有を行っています。		相談支援事業所の担当の方との情報共有を積極的に行います。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	相談支援所や先生方を通して情報提供をしています。		就労支援、就労移行、能力開発センターなどを訪れ、利用者さまのできること、苦手なことの情報共有に努めます。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	電話での連絡のやり取りをしています。		研修会に参加できる環境整備に努めます。
	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	放課後遊ぼう会や社会福祉協議会主催のイベントに参加しました。	はい 10名 どちらともいえない 1名 いいえ 1名 わからない 7名	参加の様子などをホームページで都度配信していきます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	まちづくり協議会や社会福祉協議会のイベントに参加をしています。地域の方々にもボランティアをお願いしています。		利用者さまの発表会への招待や地域のお祭りなどに、可能な限り参加するように努めます。
1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援計画書や請求明細書を提示しながら、説明しています。	はい 19名	引き続き努めてまいります。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画書を提示しながら、変更点を中心に説明しご意見を伺うようにしています。	はい 19名	引き続き努めてまいります。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	お送り時や懇談など、ご相談しやすい環境作りに努めています。	はい 12名 どちらともいえない 3名 わからない 4名	ペアレント・トレーニングの研修会に参加したいと思っております。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や電話などを使い、日々コミュニケーションをはかるよう努めています。	はい 18名 わからない 1名	引き続き努めてまいります。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時や電話などで承っております。	はい 19名	引き続き努めてまいります。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	ざっくばらん会と称し、保護者が集まり情報交換や交流の場を設けています。	はい 13名 どちらともいえない1名 いいえ 2名 わからない3名	定期的な開催と保護者様同士のつながりができるように努めてまいります。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	担当者を決め、対応するようにしています。	はい 14名 わからない5名	引き続き努めてまいります。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	連絡帳やライン、送迎時に伝達するように努めています。	はい 17名 わからない2名	表現しにくい利用者さまがすぐに使えるように「いいね」や「お助けマン」「ヘルプ」「チョコっとアドバイス」などのラミネートしたものを設置していきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	仁川通信でプログラムを提示し、ホームページやラインを使って活動内容を報告しています。	はい 17名 どちらともいえない 1名 わからない1名	タイムリーな配信に努めてまいります。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵付きロッカーに収納し、破棄する場合はシュレッダーを使用しています。	はい 19名	引き続き努めてまいります。
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	作成しスタッフ間で研修をしました。	はい 15名 どちらともいえない 1名 わからない 3名	保護者の方々に周知するように努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難訓練を実施しました。	はい 15名 どちらともいえない 2名 わからない 2名	事前に保護者の方々にお知らせ致します。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	全スタッフで研修会を行い、常に閲覧できるようにしています。		研修や演習を行うように努めます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	該当者がいらっしゃいません。		年に1回以上、研修会を開催していきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	該当者がいらっしゃいません。		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例集を配備し、報告書の確認をしています。		日々支援前にヒヤリハットを確認するように努めます。